
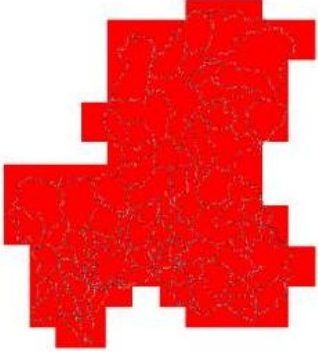


ミノコバイモ	<i>Fritillaria japonica</i> Miq.	絶滅危惧 I 類
(環境省:絶滅危惧 II 類)		ユリ科
選定理由	個体群の減少とそれぞれの個体群における個体数の急速な減少。	写真(高橋弘)
形態の特徴	茎は高さ10-15cm、先端に3枚の線形の葉が輪生し、その下に2枚の狭披針形の葉が対生、時に互生する。茎の先に1個の花をつける。花被片は狭披針形、全縁、長さ14-22mm、幅4-8mm。地は白色で紫褐色の斑紋がある。	
生態的特徴	林床や林縁に生育する。花期は3月下旬から4月中旬。	
分布状況	日本の東海地方西部に固有。岐阜県では県南の中部と西部、及び県北の南西部の標高500m以下に見られる。	
減少要因	開発による生育地の消滅と、栽培のための採取による。	
保全対策	生育地の保全と採取の禁止。	
特記事項	小型の植物で花がないと分かりにくいので、生育調査の際は細心の注意が必要。	
参考文献		
		※生育地保全のため、広範囲の分布図を表示しています。

文責:高橋弘

